



チューダーがフライング・ブルズとともに大空へ！

製造から 80 年を経た曲技飛行機で限界ギリギリの飛行に挑み、あるいはヘリコプターで宙返りしながら空を舞う。これ以上に大胆なものは他にないだろう。しかし、フライング・ブルズのコクピットではそれが日常に過ぎない。そしてこれこそが、チューダーがオフィシャルパートナーとなった理由である。

希少な歴史的な名機やアクロバットヘリコプターを含む 45 機もの機体を、12 人のパイロットが操るフライング・ブルズは、今日の航空界において最も圧倒的な存在のひとつだ。彼らは世界中を飛び回り、並外れた技量を持つパイロットの手で、機体の極限の性能を披露する。物理法則を無視するようなマニューバーやスタントで、観衆を魅了し続けている。その手首にあるのがチューダーウォッチだ。世界のタイムゾーンをまたいであらゆる航空ショーの時間を正確に刻んでいる。

極限下で真価を発揮することは、チューダーにとってはお手のものだ。それはブランドに流れる DNA の一部であり、まさに「Born To Dare」の体現といえる。そして今、チューダーは同じように勇氣ある仲間、フライング・ブルズのコクピットに居場所を見つけたのだ。

ABOUT THE FLYING BULLS

フライング・ブルズの歴史は 1980 年代後半に遡る。当時チロリアン航空のパイロットだったシギ・アンゲラーは、最新のジェット機を操縦する傍ら、歴史的な名機に深い情熱を注いでいた。手の届く戦闘機を探していた彼は、ノースアメリカン T-28B を見つけ、オーストリアのインスブルックに持ち帰り、修復した。その後、グラマン G44 ウィジョンや伝説的なチャンス・ヴォート F4U-4 コルセアをコレクションに加えた頃、彼はレッドブルの創設者であるディートリヒ・マテシッツと出会う。

このコルセアがアンゲラーとマテシッツを巡り会わせた。マテシッツはその類まれな機体に「レッドブル、翼を授ける (Red Bull gives you wings)」という広告スローガンの理想的な企業シンボルを見出した。こうして、フライング・ブルズの構想が誕生した。エナジードリンクが世界を席巻し始めると同時に、航空フリーともまた躍進した。インスブルック空港が手狭になったことから、1990 年代後半、ザルツブルク空港に隣接する新しいハンガー (格納庫) の建設計画が持ち上がった。

同時に、パイロットや技術者たちの緩やかなネットワークを恒久的な組織とする時がきたと判断され、1999 年に「ザ・フライング・ブルズ」社が設立されたのである。以来、卓越した技術と圧倒的な美しさの融合が、フライング・ブルズをスターたらしめている。

TUDOR IS "BORN TO DARE"

2017 年、チューダーは「Born To Dare」のスローガンを掲げた新しいキャンペーンを開始した。これは、ブランドの歴史と、今日ブランドが象徴するものの両方を反映している。陸海空、ときには氷上でチューダーの腕時計を身に付け、並外れた偉業を成し遂げてきた挑戦者たちの物語そのものだ。そこには、極限の環境に耐え、挑戦し続ける人々のために腕時計をつくった創業者ハンス・ウイリスドルフの想いが宿っている。今日のチューダーを築き上げた、時計製造に対する妥協を許さない姿勢を証明するものである。時計製造業界において最先端に立ち、今や欠かせないベンチマークとなっているチューダーのイノベーション。そしてチューダーの「Born To Dare」の精神は、なるべくして変革者となったアンバサダーたちにより体現されている。勇敢にかつ先見の明をもって人生に挑み、偉大な功績を残してきた人々だ。

ABOUT TUDOR

数々の受賞歴のあるスイス製ウォッチブランド、チューダー。洗練された美学と実証された信頼性、そして価格を超える価値を備えた機械式時計を提供し続けている。その起源は 1926 年、ロレックスの創業者ハンス・ウイリスドルフが「チューダー (The Tudor)」の名を登録したことに始まる。その後 1946 年、彼はロレックスが誇る品質と信頼性を有し、かつより手に届きやすい価格帯で先駆性を備えた腕時計を製造するために、モントル チューダー SA を設立した。チューダーの腕時計はその歴史を通じて、陸、海、そして氷上に至るまで、最も果敢な冒険家たちによって選ばれてきた。ブラックベイ、ペラゴス、1926、チューダー ロイヤルといった象徴的なモデルをラインナップし、2015 年からは、多機能で優れた性能を備えた機械式のマニファクチュール キャリバーも展開している。